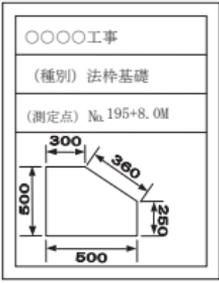
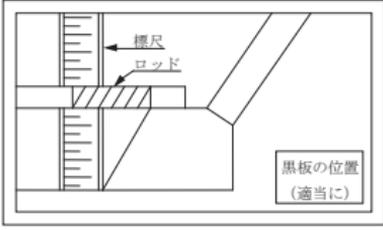
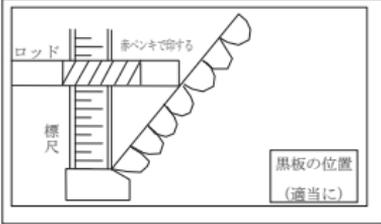


別表第2 撮影記録による出来形管理

工 種	撮 影 基 準	撮 影 箇 所	
1 共 通 工 事	1. 一 般	<p>1. 工事着手前及び完成後の全景（できるだけ同一位置から撮影する）。</p> <p>2. 施工状況、施工法について適宜撮影する。</p> <p>3. 仮設関係について適宜撮影する。</p> <p>4. 被災のおそれがあるときはその都度出来高を撮影する。</p> <p>5. 品質管理実施状況について適宜撮影する。</p> <p>6. 工場製作状況について適宜撮影する。</p> <p>7. 基礎工等で埋設される部分、完成後明視できない部分などについては、特に留意して撮影する。 なお、明視できる部分については、この基準によらなくてもよい。</p> <p>8. その他必要に応じて適宜撮影する。</p>	
	2. 掘 削	<p>施工延長おおむね50～100mにつき1箇所割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。</p>	<p>掘削幅、掘削深さ、法長、法勾配、排水側溝、その他必要箇所を撮影する。</p>
	3. 盛 土	<p>上記と同一。</p>	<p>盛土幅、まき出し厚さ、転圧、法長、法面(芝)、法勾配、排水側溝、その他必要箇所を撮影する。</p>
	4. 石 積 (張) ブロック積 (張)	<p>施工延長おおむね 40～80mにつき1箇所割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。</p>	<p>床掘、基礎関係、裏込、その他必要箇所を撮影する。</p>
	5. 基礎杭 打 工	<p>20本に1箇所割合で撮影する。</p>	<p>偏心量、リバウンド量、その他必要箇所を撮影する。</p>
	6. 矢 板 打 工	<p>施工延長おおむね 40～80mにつき1箇所割合で撮影する。 上記未満は2箇所撮影する。</p>	<p>偏心量、その他必要箇所を撮影する。</p>

撮 影 方 法	管 理 方 法
<p>1. 撮影箇所の確認、寸法の判定ができるよう工夫する。</p> <p>2. 撮影箇所には次の事項を記入した黒板を用意し、整理説明の便となるよう工夫する。</p> <p>(1) 工 事 名 (2) 工種及び種別 (3) 作業内容 (4) 測 点 (5) 設計数量・寸法 (6) 実測数量・寸法 (7) 略 図</p> <p>3. 写真は原則としてカラー撮影とし大きさは、11.7 cm×8 cmを標準とする。</p>	<p>1. 写真は施工の時期、工種、施工の順序が判定できるように整理し、アルバムに添付する。</p> <p>2. 完成検査及び既済部分検査の際は上記アルバムを検査職員に提示し、寸法出来形管理と併せて確認の資料とする。</p>
<p>黒板記入例</p>	
	
<p>写真例 (基礎の高さ)</p>	
	

	工 種	撮 影 基 準	撮 影 箇 所
1 共 通 工 事	7. オープンケーソン	構造図の寸法標示箇所を1ロット毎に撮影する。	幅、長さ、高さ、配筋、その他必要箇所を撮影する。
	8. コンクリート吹付工 モルタル吹付工	施工面積おおむね 200～400 m <sup>2</sup> につき1箇所の割合で撮影する。 上記未满是2箇所撮影する。	法面状況、法勾配、法長、厚さ、ラス張、アンカー打込み、その他必要箇所を撮影する。
	9. 栗石基礎、碎石基礎、砂基礎、均しコンクリート	施工延長おおむね 50～100mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記未满是2箇所撮影する。	幅、厚さ、転圧、粒径、その他必要箇所を撮影する。
	10. コンクリート付帯構造物 コンクリート基礎、側溝、管渠、横断構造物、RC橋、コンクリート擁壁、その他上記に準ずるもの	線的な構造物については施工延長おおむね 40～80mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記未满是2箇所撮影する。 箇所単位の構造物については適宜撮影する。	床掘、基礎、幅、厚さ、配筋、高さ、その他必要箇所を撮影する。
	11. 精度を要するもの 分水工計量部、ゲート戸当部、橋台峯部	構造図の寸法標示箇所を撮影する。	幅、厚さ、高さ、配筋、その他必要箇所を撮影する。
	12. U 字 溝 U字フリューム ベンチフリューム	施工延長おおむね 50～100mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記未满是2箇所撮影する。	施工状況、その他必要箇所を撮影する。
	13. 土 水 路	施工延長おおむね 200～400mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記未满是2箇所撮影する。 施工延長を示さない場合は、1～2工区につき1箇所の割合で撮影する。	幅、高さ、厚さ、法勾配、その他必要箇所を撮影する。
14. 鉄筋組立	1 スパン（1 打設ブロック）ごとに撮影する。	かぶり、中心間隔、その他必要箇所を撮影する。	

撮影方法	管理方法
<p>4. 基礎等が土砂又は水面に埋設する場合、法長の測量点を赤ペンキ等で印をする。 印の位置はなるべく1mとか2mのように整数値とする。</p> <p>写真例</p> 	

	工 種	撮 影 基 準	撮 影 箇 所
2 ほ 場 整 備 工 事	1. 表 土 扱 い	おおむね 10a 当たり 1 箇所の割合 で撮影する。	表土厚を撮影する。
	2. 基 盤 整 地 田 面 整 地	上記と同一。	基盤面、表土埋戻し後を撮影する。
	3. 畦 畔 工	施工延長おおむね 200～400mにつ き 1 箇所の割合で撮影する。 上記未满是 2 箇所撮影する。	高さ、幅、その他必要箇所を撮影す る。
	4. 道 路 工 (砂 利 道)	幹線道路は 50～100mにつ き 1 箇所の割合で、支線道路は 200～400 mにつ き 1 箇所の割合で撮影する。	まき出し厚さ、転圧、厚さ、幅、そ の他必要箇所を撮影する。
3 農 用 地 造 成 工 事	1. 耕 土 深 耕	おおむね 1 ha 当たり 2～3 箇所撮 影するほか、つぼ掘りは 2 ha 当 たり 1 箇所の割合で撮影する。	耕起深、つぼ掘りを撮影する。
	2. テ ラ ス (階 段 畑)	テラス延長 100～200mにつ き 1 箇 所の割合で撮影する。 上記未满是 2 箇所撮影する。	法勾配、幅、耕起幅、その他必要箇 所を撮影する。
	3. 道 路 工 (耕 作 道)	施工延長おおむね 100～200mにつ き 1 箇所の割合で撮影する。	法勾配、幅、厚さ、側溝幅を撮影す る。
	4. 土 壌 改 良	おおむね 2 ha 当たり 1 箇所の割合 で撮影する。	サンプル採取中及び試験中の箇所、 その他必要箇所を撮影する。
	5. 改 良 山 成	測定点 2～3 箇所につ き 1 箇所の割合で撮影する。	基準高、法勾配、その他必要箇所を 撮影する。

撮 影 方 法	管 理 方 法

## 4

## 農道

## 5

## 水路トンネル

	工 種	撮 影 基 準	撮 影 箇 所
4 農 道 工 事	1. 路 盤 工	施工延長おおむね 50～100mにつ き 1 箇所の割合で撮影する。 上記未済は 2 箇所撮影する。	まき出し厚さ、転圧、幅、その他必 要箇所を撮影する。
	2. コンクリート 舗装工 アスファルト 舗装工	上記と同一。	幅、厚さ、その他必要箇所を撮影す る。
	3. 敷 砂 利	上記と同一。	まき出し厚さ、幅、転圧、その他必 要箇所を撮影する。
	4. 道路トンネル	巻厚については 1 スパンにつき 1 箇所の割合で撮影する。 その他掘削タイプの変化する毎に 1 箇所の割合で撮影する。	巻厚、型枠、切羽、支保工、矢板、 坑口、その他必要箇所を撮影する。
	5. 道路トンネル (NATM)	掘削はタイプの変化する毎に 1 箇 所、ロックボルトは 100mに 1 箇 所、コンクリート吹付は 50mに 1 箇所、巻厚については 1 スパンにつ き 1 箇所の割合で撮影する。	巻厚、型枠、切羽、支保工、ロック ボルト、コンクリート吹付、坑口、 その他必要箇所を撮影する。
5 水 路 ト ン ネル 工 事	1. 水路トンネル	巻厚については 1 スパンにつき 1 箇所の割合で撮影する。 その他は掘削タイプの変化する毎 に 1 箇所の割合で撮影する。	巻厚、型枠、切羽、支保工、矢板、 坑口、その他必要箇所を撮影する。

撮 影 方 法	管 理 方 法

6 水路  
7 河川及び排水路

工 種	撮 影 基 準	撮 影 箇 所	
6 水 路 工 事	1.開水路 (現場打)	おおむね2スパンにつき1箇所の割合で撮影する。	幅、高さ、厚さ、配筋、打継目、その他必要箇所を撮影する。
	2.サイホン (現場打)	上記と同一。	上記と同一。
	3.暗渠 (現場打)	上記と同一。	上記と同一。
	4.鉄筋コンクリート大型フリーム 鉄筋コンクリートL型水路	施工延長おおむね50m～100mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記未满是2箇所撮影する。	鉄筋コンクリート大型フリームについては、布設、その他必要箇所を、鉄筋コンクリートL型水路については、幅、厚さ、布設、その他の必要箇所を撮影する。
	5.ボックスカルバート水路	上記と同一。	高さ、その他必要箇所を撮影する。
7 河 川 及 び 排 水 路 工 事	1. コンクリート法覆工 アスファルト法覆工	施工延長おおむね50m～100mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記未满是2箇所撮影する。	幅、厚さ、法長、法勾配、その他、必要箇所を撮影する。
	2. コンクリートブロック積水路 鉄筋コンクリート橋渠	上記と同一	コンクリートブロック積み水路については基礎関係、裏込、幅、高さ、その他必要箇所を、鉄筋コンクリート橋渠については、アーム間隔、柵板設置、その他必要箇所を撮影する。
	3. ライニング水路 連節ブロック張り コンクリートマット	上記と同一	布設、幅、法長、その他必要箇所を撮影する。

6  
水路

7  
河川及び排水路

撮影方法	管理方法

工 種	撮 影 基 準	撮 影 箇 所	
8 管 水 路 工 事	1. 管体基礎工 (砂基礎及び埋戻等)	施工延長おおむね50m～100mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記未满是2箇所撮影する。	基礎、埋戻等の厚さ、幅、まき出し、締固め状況等を撮影する。
	2. 管水路 (遠心力鉄筋コンクリート管)	上記と同一。	管布設状況、外観検査、ジョイント関係、その他必要箇所を撮影する。
	3. 管水路 (強化プラスチック複合管 ダクタイル铸铁管)	上記と同一。	上記と同一。
	4. 管水路 (硬質塩化ビニル管)	上記と同一。	上記と同一
	5. 管水路 (鋼管)	上記と同一。	芯出し据付け状況、溶接作業、清掃状況、塗装、非破壊検査、ピンホール検査、膜厚検査、その他必要箇所を撮影する。
	6. 管水路 (埋設とう性管) たわみ率	たわみ量測定箇所2箇所につき1箇所の割合で撮影する。 ただし、測定箇所が2箇所のみの場合は2箇所とも撮影する。	マーキング関係、Dh及びDv寸法、その他必要な箇所について撮影する。
	7. シールド工事 (一次覆工)	施工延長おおむね50m～100mにつき1箇所の割合で撮影する。 上記未满是2箇所撮影する。 たわみ率測定箇所2箇所につき1箇所の割合で撮影する。 ただし、測定箇所が2箇所の場合は2箇所とも撮影する。	セグメント設置状況、外観検査、Dh及びDv寸法、その他必要箇所を撮影する。
	8. シールド工事 (二次覆工)	上記と同一。	管布設状況、外観検査、ジョイント関係、Dh及びDv寸法、その他必要箇所を撮影する。
	9. 推進工事	上記と同一。	上記と同一

撮 影 方 法	管 理 方 法
膜厚検査で塗膜厚の確認が困難な場合は、使用済塗料空カン等の撮影を行う。	
D <sub>h</sub> 及びD <sub>v</sub> 寸法の測定状況のほか、スケール目盛りを撮影する。	
上記と同一。	
上記と同一。	
上記と同一。	

工 種	撮 影 基 準	撮 影 箇 所
9 畑かん施設 工事	1. スプリンクラー 1 ha 当たり 1～2 箇所割合で撮影する。	埋設深を撮影する。
10 橋梁 工事	1. コンクリート桁 (ポストテンション桁)	構造図の寸法標示箇所を桁毎に撮影する。
	2. 鉄筋コンクリート床版工	幅については1 スパンにつき1 箇所の割合で撮影する。 厚さについては施工面積おおむね30～60 m <sup>2</sup> につき1 箇所の割合で撮影する。 上記未满是2 箇所撮影する。
	3. 鉄筋コンクリート高欄及び地覆工	上記と同一。
11 橋梁 下部 工事	1. 橋台工	構造図の寸法表示箇所を1 基毎に撮影する。
	2. 橋脚工 張出式 重力式 半重力式	上記と同一。
	3. 橋脚工 ラーメン式	上記と同一。

撮 影 方 法	管 理 方 法

9  
畑かん施設

10  
橋梁

11  
橋梁下部

工 種		撮 影 基 準	撮 影 箇 所
12 法面保護 工事	1. 法面保護工	客土吹付、有機基材吹付工は、施工面積おおむね200～400㎡につき1箇所、その他は1,000㎡につき1箇所の割合で撮影する。 上記未済は2箇所撮影する。  ラスの重ね幅を適宜撮影する。	法面状況、法面清掃、厚さ、金網、植生ネット張、むしろ張、アンカー打込み等必要箇所を撮影する。  ラス重ね箇所
	13 暗渠排水 工事	1. 吸水渠  2. 集水渠 （支線） 導水渠 （幹線）	1 耕区当たり1～2箇所の割合で撮影する。  埋設深、埋設間隔、その他必要箇所を撮影する。  施工延長おおむね50～100mにつき1箇所の割合で撮影する。  埋設深、その他必要箇所を撮影する。
14 フイルダム 工事	1. 監査廊	1スパンにつき1箇所の割合で撮影する。	幅、高さ、厚さ、配筋、打継目、その他必要箇所を撮影する。
	2. 堤体盛立	盛立高さおおむね3～5mにつき1箇所の割合で各ゾーン毎に撮影する。 ストックパイルは造成の都度1箇所撮影する。	ゾーン幅、まき出し厚さ、転圧、レーキング、コンタクトクレー、リップラップ工、ストックパイル工、その他必要箇所を撮影する。
	3. 洪水吐	2スパンにつき1箇所の割合で撮影する。	幅、高さ、厚さ、配筋、打継目、その他必要箇所を撮影する。
	4. 埋設計器	各計器毎に撮影する。	埋設状況、埋設時のゲージの状態等について撮影する。
	5. グラウトボーリング	ボーリングの削孔長を全数撮影する。	削孔長は全数、その他必要箇所を撮影する。

撮 影 方 法	管 理 方 法
<p>撮影時期、撮影内容及び撮影方法については別途特記仕様書による。</p>	

工種	撮影基準	撮影箇所	
15 頭首 工事	1. 本体	構造図の寸法標示箇所を撮影する。	厚さ、幅、高さ、長さ、配筋、その他必要箇所を撮影する。
	2. 護床ブロック (異形ブロック)	施工面積おおむね 200 m <sup>2</sup> につき 1 箇所の割合で撮影する。 上記未済は 2 箇所撮影する。	基礎地盤状況、据付け状況、その他必要箇所を撮影する。
16 海岸 河川 工事	1. 捨石工 消波ブロック工	施工延長おおむね 50～100mにつき 1 箇所の割合で撮影する。	幅、高さ、その他必要箇所を撮影する。
	2. 波返工	上記と同一	基準高、幅、高さ、打継目角度、その他必要箇所を撮影する。
	3. 浚渫工	上記と同一	基準高、幅、その他必要箇所を撮影する。
17 ため 池 改 修 工 事	1. 堤体工	施工延長おおむね 20m～40mにつき 1 箇所の割合で撮影する。	盛土幅員、まき出し厚さ、転圧、法長、法面(芝)、法勾配、排水側溝 その他必要箇所を撮影する。
	2. 洪水吐工	おおむね 2 スパンにつき 1 箇所の割合で撮影する。 箇所単位の構造物については適宜撮影する。	床掘、基礎、幅、高さ、配筋、打継目、パイプ布設、外観検査、ジョイント関係、その他必要箇所を撮影する。
	3. 樋管工 同上付帯構造物 (土砂吐ゲート等)	施工延長おおむね 10mにつき 1 箇所の割合で撮影する。 箇所単位の構造物については適宜撮影する。	床掘、基礎、幅、高さ、厚さ、配筋、打継目、その他必要箇所を撮影する。

撮 影 方 法	管 理 方 法

15

頭首工

16

海岸河川

17

ため池改修

